

第5学年1・2・3組 学級活動（2）（3）学習指導案

指導者 繁中 良太
 櫻井 千佳
 上野 純

1 題材名 「コロナに負けない！自分を目指そう！」

学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成

学級活動（3）ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる態度の育成

2 ねらい

○新型コロナウイルス感染拡大予防のために変化した学校生活の中で、思いやりをもって友達と関わるのが大切であることに気付くことができる。

○5年生の学習や生活を知り、個人のめあてを設定し、生活への希望がもてるようにする。

○一人一人の思い描く学級にするための「自分の頑張りたいこと」を決める。

3 評価規準

①よりよい生活を築くための 知識・技能	②集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	③主体的に生活や人間関係をよ りよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染及び拡大予防のために変化した学校生活を送るための見通しをもち、健全な生活を送ったり、自己実現を図ったりするために必要な知識や行動の仕方を身に付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染及び拡大予防のために変化した学校生活を送る上での課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分にあったよりよい解決方法を意思決定して実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染及び拡大予防のために変化したこれからの学校生活についての見通しをもちたり、友達と協力したりしながらなりたい自分に向けて自主的に行動しようとしている。

4 指導計画

	主な学習活動	授業改善のポイント
1	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスに関するクイズを行い、感染予防の方法を知る。 ○有馬小の“命を守る約束”を知る。 ○自己紹介をして、友達のことを知る。 ○教師の学級経営理念を知る。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○レクリエーションを通し、思いやりをもって友達と関わることの大切さについて考える。 <p>〈学級活動（2）〉</p>	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○今月の「自分の頑張りたいこと」を決める。 <p>〈学級活動（3）〉</p>	
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○「どんな自分になりたいか」を考え、そのためにできることを決める。 <p>〈学級活動（3）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんな自分になりたいか」決める。 ・そのためにできることをアドバイスし合う。 ・「自分が頑張りたいこと」を意思決定する。 	
事後	<ul style="list-style-type: none"> ○実践したことを振り返る。 	

1 / 4 時間目

本時の
目 標

- ・新型コロナウイルスについて正しい知識を身に付けるとともに、友達のことや学級経営方針について理解することができる。

本時の
評 価

- ・新型コロナウイルスについて正しい知識を身に付けるとともに、友達のことや学級経営方針について理解している。

知ろう！学ぼう！友達のこと、これからの学校生活のこと

自己紹介

- ① 名前
- ② たん生日
- ③ 好きなもの、苦手なもの
- ④ 得意なこと、特技
- ⑤ クラスのみんなに一言

※担任の
「こんなクラスにしたい」
を掲示する。

命を守る3つの”ない”

- 手あらいをわすれない
- マスクをとらない
- 近づかない



- ★ 自分たちで学校生活を楽しくする工夫をしよう。
- ★ きりがはなれていても「心」でつながろう。

授業改善のポイント



興味や関心を高める

自己紹介を通して、学級の仲間に興味・関心を高められるようにする。

①つかむ

- 学習の見通しをもつ。
- ・ 学習の流れを掲示する。

②学び合う

- 自己紹介をする。
- ・ 紹介する内容を提示する。
- ・ 伝わる話し方、聞き方を指導する。
- 教師がどんなクラスにしたいかを知る。
- ・ 児童に伝わりやすい言葉で示す。

③考える

- 「コロナウイルスクイズ」に取り組む。
- ・ 有馬小の「命を守る約束」を提示し、学校生活の中で感染拡大防止のために気を付けることを伝える。
- 感染を予防しつつ、学校生活を楽しいものにするための方法を考える。

④振り返る

- 学習感想を発表する。
- 次時の見通しをもつ。
- ・ キーワードとして「距離が離れていても、『心』でつながる」を提示し、次時の見通しをもたせる。

2 / 4 時間目

本時の
目 標

- ・友達との非接触型の交流を通し、よりよい人間関係を形成するためにはどうしたらよいかを考えることができる。

本時の
評 価

- ・友達との非接触型の交流を通し、よりよい人間関係を形成するためにはどうしたらよいかを考えている。

クラスの友達と仲良くなろう！

口をとじてならびましようゲーム

～ルール～

- ・一切しゃべってはいけません。
- ・制限時間は5分。
- ・制限時間内にたん生生日順に全員がならべたらクリア。

身ぶり手ぶり

言葉がなくても通じた！

関わろうとする気持ちが大切

手びょうしインパルス

～ルール～

- ・全員で一つの円になる。
- ・親から左回りで手びょうしをつなぐ。
- ・手びょうしが一周まわったらクリア。
- ・〇秒以内のクリアを目指せ！

友達をよく見る

クラスがまとまった

ナンバー・コール

～ルール～

- ・1から順番に数字を言う。
- ・一度言った人はその後見守る。
- ・〇番までかぶらず言えたらクリア。

ゆずる気持ち

「自分が」という気持ち

目を見る

- ・友達の気持ちを考える。
- ・友達がしてほしいことを予想する。
- ・みんなのために自分ができるところを！

授業改善のポイント



興味や関心を高める

レクリエーションを通して、よりよい人間関係を形成していくことへの興味・関心を高められるようにする。



思考を表現に置き換える

意図的に、感じたことや考えたことを伝え合う場面を多く設定することで、自分の考えを他者に伝えられるようにする。



思考して問い続ける

視点を絞って振り返ることで、よりよい人間関係を形成するための解決方法を考えられるようにする。

①つかむ

- 本時の課題をつかむ。
- 学習の見通しをもつ。
- ・学習の流れを掲示する。

②考える

- レクリエーションに取り組む。
- ・適宜助言をし、課題を解決できるようにする。
- ・レクリエーションが終わるごとに振り返りをさせる。
- ・相手を意識したり、全体をまとめようとしたりする発言を全体で共有する。

③学び合う

④振り返る

- 学習感想を書く。
- ・視点を絞って振り返りができるようにワークシートを用意する。
- 学習感想を交流・発表する。
- 次時の見通しをもつ。

3 / 4 時間目

本時の
目 標

- ・これから始まる5年生の生活に向けて希望や目標をもち、自分が取り組みたいことを具体的に考えることができる。

本時の
評 価

- ・これからの学校生活を、よりよい生活にするための課題に気付き、なりたい自分について考えることができる。

なりたい5年生に向けて、自分の「がんばること」を決めよう！

これまでの休校期間を過ごしてきて感じたこと

- ・課題がたくさんあって大変だった。
- ・家から外へあまり出られなかった。
- ・友達と会うこともできなくて、楽しくなかった。
- ・早く学校で、友達に会いたいと思った。

どんな5年生になりたい？
（みんなから出た思い）

- ・たくさん発言をする
- ・あいさつや返事ができる
- ・どんなことにもチャレンジする
- ・勉強に集中して取り組める
- ・友達にやさしくできる

どんな5年生になりたい？
（お家の人の思い）

- ・健康 ・楽しく過ごす
- ・笑顔で仲良く ・元気

なりたい5年生に向けて、どんなことをがんばればよいか。

- （学習）
- ・進んで手を挙げる。
- ・ノートの取り方を工夫してみる。
- （生活）
- ・相手の目を見てあいさつをする
- ・友達に対して「ありがとう」を言う
- ・メッセージカードを送る。

自分の「がんばること」を決めよう！

授業改善のポイント



互いの考えを比較する

グループで話し合うことで、よりよい意思決定のために違いの考えを比べられるようにする。



自分の思いや考えを結び付け、考えを形成する

話し合いを通して、自分の「がんばりたい」ことを意思決定することができるようにする。

①つかむ

- これまでの休校中に感じたことや前時で考えたことについて確認する。
- ・休校期間を過ごしてきて思ったことや感じたことを発表させる。
- ・第2時で考えた「友達と心でつながる」ことについて考えたことを振り返らせる。

②考える

- どんな5年生になりたいか考える。
- ・始業式で配布した「どんな5年生になりたいか」の作文から、具体的な姿を考えられるようにする。

③学び合う

- なりたい5年生に向けて、どんなことをすればよいか話し合う。
- ・「学習」と「生活」の視点で話し合わせる。

④まとめる

- 自分の「がんばること」を意思決定する。
- ・学習と生活で自分のがんばりたいことを、めあてカードに記入させる。
- ・具体的なめあてや実践方法を決められるよう声掛けをする。

⑤振り返る

- 自分の「がんばること」を発表する。
- 教師の助言を聞く。
- ・めあての達成に向けて、意欲をもって取り組むこと、この思いを基に、学級の目標を決めていくことを伝える。

4 / 4 時間目

本時の
目 標

・「どんな自分になりたいか」を考え、自分が取り組みたいことを具体的に考えることができる。

本時の
評 価

・「どんな自分になりたいか」を考え、自分が取り組みたいことを意思決定している。

なりたい自分になるために、自分にできることを考えよう！

保護者の願い
ランキング

第一位

・人のいたみ
が分かり、友
達への思いや
りや仲間を大
切にする。

※体育館スクリーン
に投影する。

5年生の
先生の願い
ランキング

第一位

「ありがとう」
「ごめんね」がす
なおに言える。

どんな自分になりたいか？

そのために

～な自分。

※付箋を使った交流
の方法を示す。

・一日に5回、友達にあいさ
つをする。

「Can Doせん言」

毎日、○人に
～します！

授業改善のポイント



見通しをもって粘り強
く取り組む

保護者や担任の願いを知ること
を通して、「どんな自分になりたい
か」を一人一人が思いをもって、本
時の話し合い活動に取り組めるよ
うにする。



互いの考えを比較する

自分と他者の考えを比較するこ
とで、よりよい解決方法を出し合
うことができるようにする。



自分の思いや考えを結
び付け、考えを形成する

出されたアイデアをもとにして
自分の取り組みたいことを意思決
定できるようにする。

①つかむ

- 学校再開後のクラスでの生活について振り返る。
- ・保護者や担任の願いをランキング形式で提示する。
- 学習の見通しをもつ。

②考える

- 「なりたい自分」を考える。
- ・保護者の思い、担任の思いを参考にして考えさせる。
- 「なりたい自分」について、より具体的な姿をイメージし、目標達成に向け行動できそうなことを考える。

③学び合う

- 友達の「なりたい自分」を実現するための具体的な助言をし合う。
- ・助言の視点を示す。
- ・付箋を使って考えを記入させる。
- ・3密にならないように声をかける。

④まとめる

- 友達からもらった解決方法を分類・整理する。
- 自分が取り組むこと「Can Doせん言」として意思決定する。
- ・「～な自分」とそのために「自分が取り組むこと」を具体的に考えさせる。

⑤振り返る

- 「Can Do宣言」を発表する。
- 教師の助言を聞く。
- ・目標を達成への意欲をもつことができるように声掛けをする。

【指導講評】

講師 有明教育芸術短期大学学長 若林 彰先生

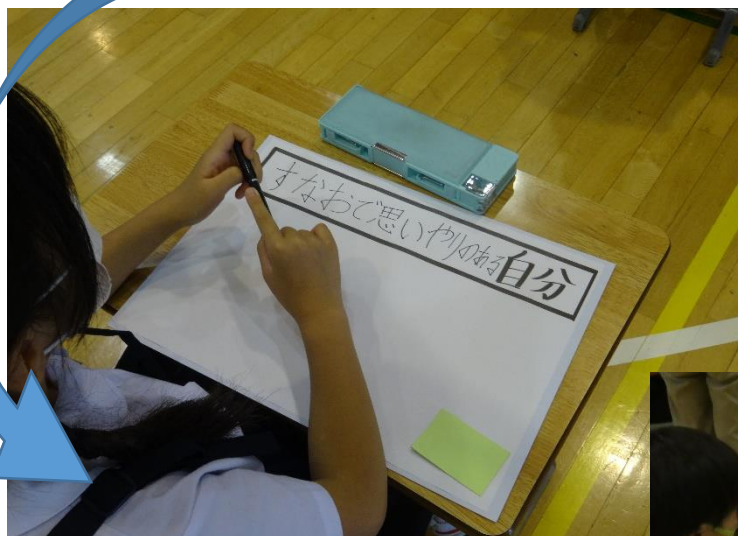
- ・特別活動は、正に「三密」の時間である。「三密」を避けなければならない状況だからこそ、どのように工夫・発展させていくか、思考の変換が求められている。
- ・「離れていても心でつながろう」をキーワードに掲げ、分散登校中にグループ間のメッセージ交換や、学級開きの三密を避けたゲームなどの取り組みを行うことで、自分たちで学校生活を楽しもうとする態度を育てていた。
- ・「友達に優しくする」というのは道徳的な価値であり、特別活動では「友達に優しくするために自分は何をするか」というより具体的な姿を考えさせる。目標を具体化させるために、情報収集をするという流れがよかった。
- ・これからの集団思考の方法について、例えばホワイトボードや付箋を活用し、一切無言による「サイレントディスカッション」や、タブレットを活用した「オンラインディスカッション」など工夫していく必要がある。

【協議会を通してのまとめ 成果と課題】

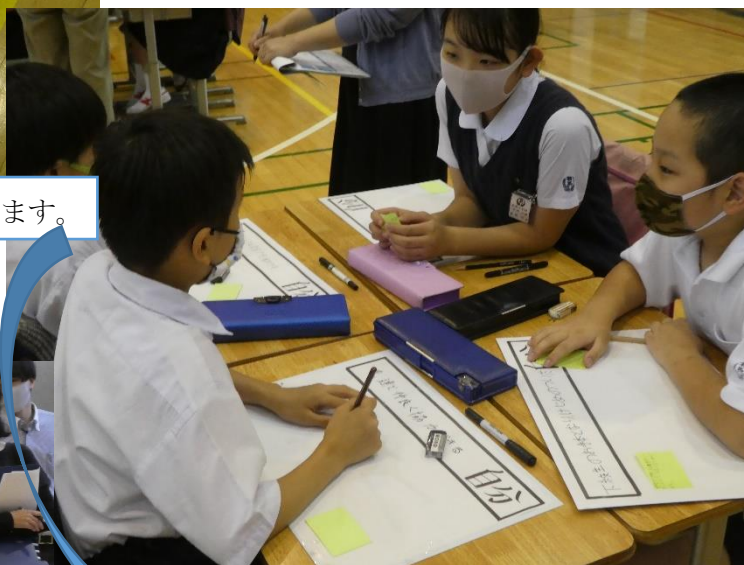
- なりたい自分になるためにできることを考える際に「いつ・どこで・何回・どのように」という視点を与えたことで、具体的な目標を立てることができた。
- 自己紹介やレクリエーションに、明確な目的をもたせて取り組ませたことで、新しい生活様式の中での集団生活において大切なことを感じさせることができた。
- 友達、保護者、担任のそれぞれの思いや休校期間中の思いなどの資料を用いたことで、取り組みたいことを具体的に考えることができた。
- 自分の課題を意識しながら学校生活を送るきっかけとなった。
- ▲なりたい自分が想像できていない児童へのアドバイスが難しく、アドバイスをもらえる量に差が見られた。一人にあげるアドバイスの数を事前に統一したり、児童への声掛けの中でどのような姿を目指したいかを掘り下げたりする必要があった。
- ▲何のために「なりたい自分」を考える活動をしているのか見通しをもって活動することができなかった。「Can do 宣言」で達成したい行動目標をたてるために、なりたい自分を考えるという流れを導入で伝えると見通しがもてた。
- ▲「どんな5年生になりたいか」というテーマが広すぎたことで児童によって目指す姿に差が見られた。例として「あいさつ・姿勢・授業の取り組み方」等をあげ、具体的な場面をイメージするための視点を与えるるとよかった。

	5年の先生たちの願い	保護者の願い
第一位	「ありがとう」「ごめんね」がす なおに言える。	人の痛みが分かり、友だちへの思 いやりや仲間を大切にする。
第二位	言われなくても、自分たちで行 動する。	高学年として、下級生のお手本と なり、憧れられるようになる。
第三位	正対して話を聞き、友だちの 意見を大切にする。	「やるときはやる」けじめを大切 にする。
第四位	目標に向かって、チャレンジ する気持ちをもつ。	楽しく、協力して過ごす。
第五位	困っている人には手をさしの べる。	一日一日を大切に、思い出に残る 1年にする。

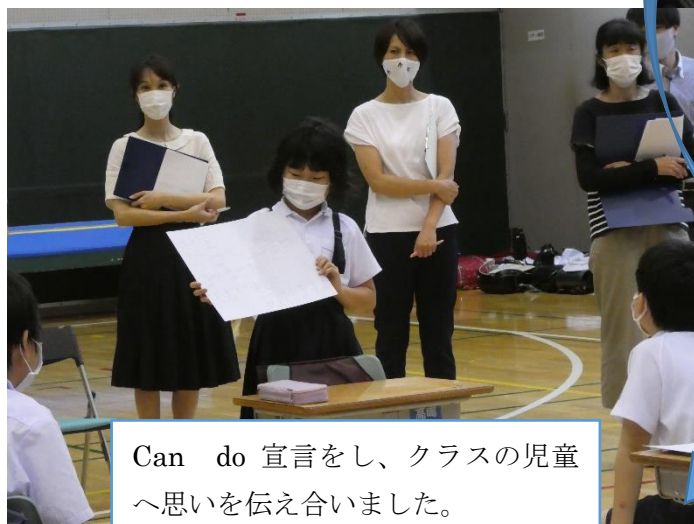
なりたい自分になるためのイメージを掴むために、担任・保護者の
児童に対する願いを提示しました。



表を参考にしながら、なりたい自分の姿を決定します。



友だちとの交流を通して、
具体的な行動目標を決定します。



Can do 宣言をし、クラスの児童
へ思いを伝え合いました。